

# ■ 2019年度 入試問題分析シート ■

東北大学

前期日程

科目

文系数学

総括

試験時間	100分	難易度(昨年比)	難化	昨年並	易化
満点(配点)	200~300点	分量(昨年比)	増加	昨年並	減少

〈総論〉

③の3項間漸化式はやや解きにくかった。④の確率の問題はとくに(2)が考えにくかった。

〈特記事項・トピックス〉

今年はベクトルと微分積分の分野からは出題されなかった。

〈合格への学習対策〉

各分野をまんべんなく学習し、標準的な問題からやや複雑な応用問題でも得点できるように練習しておくこと。

## 設問ごとの分析

問題番号	出題形式	範囲	分野・テーマ	特徴(内容分析・解答上のポイント)	問題レベル
①	記述式	Ⅱ	方程式	直線と放物線の交点と方程式の解。	やや易
②	記述式	Ⅱ	対数不等式	対数不等式の整数解。底 $a$ と $1$ の大小による場合分けが必要である。	標準
③	記述式	B	数列	数学的帰納法と3項間漸化式。	標準
④	記述式	A	確率	裏が出た金貨を銀貨にかえながら行なう硬貨投げの確率。	やや難

「問題レベル」は、本大学・学部を志望している受験生の入試レベルを基準に、問題の難易度を5段階〔難・やや難・標準・やや易・易〕で判断しています。昨年対比ではありませんので、総括の難易度(昨年比)とは連動しません。